



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月6日

上場会社名 オイレス工業株式会社
 コード番号 6282 URL <http://www.oiles.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 昌弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 企画管理本部長 (氏名) 宮崎 聡

TEL 0466-44-4901

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	45,413	4.0	3,916	13.6	4,088	7.7	2,774	10.0
2018年3月期第3四半期	43,663	3.9	3,447	7.2	3,797	2.9	2,522	18.9

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,778百万円 (55.2%) 2018年3月期第3四半期 3,966百万円 (264.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	88.69	
2018年3月期第3四半期	80.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	77,535	59,099	74.8	1,854.00
2018年3月期	72,607	58,839	79.7	1,851.17

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 58,024百万円 2018年3月期 57,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		25.00		25.00	50.00
2019年3月期		25.00			
2019年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,300	3.8	4,950	2.4	5,150	2.5	3,550	0.9	113.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	34,300,505 株	2018年3月期	34,300,505 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2019年3月期3Q	3,003,418 株	2018年3月期	3,059,497 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	31,281,722 株	2018年3月期3Q	31,366,749 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注及び販売の状況	9
(2) 地域ごとの売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は総じて堅調に推移いたしました。後半には米中貿易摩擦等の影響により先行き不透明感が強まる状況となりました。一方、我が国経済は世界経済の成長と内需に支えられて緩やかな拡大基調にありました。このような環境にあつて当企業グループは、お客様のニーズに迅速かつ的確に対応することにより、国内メーカーからの受注獲得に努めるとともに、欧米、中国、インド、アセアンを重点としたグローバル展開を推進してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は454億13百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は39億16百万円(前年同期比13.6%増)、経常利益は40億88百万円(前年同期比7.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億74百万円(前年同期比10.0%増)となりました。

<軸受機器>

一般産業機械向け製品は、産業車両や射出成形機向け製品の受注が堅調に推移し、自動車向け製品についても欧州、アジア地域の自動車メーカーとの取引が引続き堅調に推移した結果、売上は増加いたしました。一方、材料費の増加に加えて積極的な投資による負担が増したことなどにより、利益は昨年を下回りました。

この結果、軸受機器の売上高は344億19百万円(前年同期比2.4%増)、セグメント利益は34億74百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

<構造機器>

建物向け製品は、前年の受注を大きく上回り売上は増加いたしました。また、橋梁向け製品は、前年並みの売上を確保いたしました。

この結果、構造機器の売上高は57億68百万円(前年同期比20.2%増)、セグメント利益は4億46百万円(前年同期はセグメント損失1億75百万円)となりました。

<建築機器>

外付けブラインドは、積極的な営業活動が奏功し売上は増加しましたが、主力製品であるウィンドウ オペレーターの新規物件およびリニューアル物件共に売上は減少いたしました。

この結果、建築機器の売上高は41億61百万円(前年同期比3.3%減)、セグメント損失は27百万円(前年同期はセグメント利益15百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ、総資産は49億27百万円増加、負債は46億68百万円増加、純資産は2億59百万円増加した結果、自己資本比率は前連結会計年度より4.9ポイント減少して74.8%となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産では現金及び預金の27億86百万円の増加、商品及び製品の7億54百万円の増加、仕掛品の7億67百万円の増加、固定資産では有形固定資産の20億47百万円の増加、投資有価証券の10億25百万円の減少であります。

負債の増減の主なものは、流動負債では未払法人税等の4億44百万円の減少、賞与引当金の6億19百万円の減少であります。固定負債では大分工場拡張に係る資金調達を行ったため、長期借入金が増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内外における外部環境の急激な変化等により、世界経済の減速感が足元で鮮明となつてきている状況ですが、当企業グループの各事業においては以下の取り組みを行うことにより、サマリー情報に記載の連結業績を予想しております。

軸受機器事業は、海外での成長をより確実なものにするためのグローバルな事業展開をさらに推進してまいります。

構造機器事業は、当社の強みを発揮できる市場の形成に注力することで競争力の確保を図るとともに、一層のコスト改善を進め、受注拡大と収益改善に取り組んでまいります。

建築機器事業は、ウィンドウ オペレーターのリニューアル物件の獲得と、省エネに有効な外付けブラインドの認知度を向上させるための販売促進活動を強化し、受注拡大に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,409	18,195
受取手形及び売掛金	18,572	17,936
有価証券	1,499	1,499
商品及び製品	3,426	4,180
仕掛品	2,510	3,277
原材料及び貯蔵品	2,407	2,582
その他	974	1,225
貸倒引当金	△51	△52
流動資産合計	44,748	48,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,901	9,181
機械及び装置(純額)	4,748	5,247
土地	2,921	2,922
その他(純額)	3,517	2,784
有形固定資産合計	18,088	20,136
無形固定資産	683	591
投資その他の資産		
投資有価証券	6,749	5,724
退職給付に係る資産	127	127
その他	2,225	2,124
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	9,086	7,961
固定資産合計	27,859	28,688
資産合計	72,607	77,535

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,466	6,551
未払法人税等	810	366
賞与引当金	1,089	469
役員賞与引当金	103	74
株主優待引当金	45	—
その他	3,626	3,583
流動負債合計	12,142	11,046
固定負債		
長期借入金	—	6,000
役員退職慰労引当金	56	51
役員株式給付引当金	—	30
退職給付に係る負債	607	524
その他	961	783
固定負債合計	1,625	7,389
負債合計	13,767	18,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,585	8,585
資本剰余金	9,615	9,679
利益剰余金	41,726	42,933
自己株式	△5,449	△5,431
株主資本合計	54,478	55,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,175	1,459
為替換算調整勘定	1,460	1,001
退職給付に係る調整累計額	△281	△202
その他の包括利益累計額合計	3,353	2,258
非支配株主持分	1,007	1,074
純資産合計	58,839	59,099
負債純資産合計	72,607	77,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	43,663	45,413
売上原価	28,331	29,381
売上総利益	15,331	16,031
販売費及び一般管理費	11,883	12,115
営業利益	3,447	3,916
営業外収益		
受取利息	64	79
受取配当金	107	120
為替差益	139	—
その他	223	154
営業外収益合計	535	354
営業外費用		
支払利息	14	13
為替差損	—	79
デリバティブ評価損	146	5
支払手数料	—	65
その他	24	18
営業外費用合計	185	181
経常利益	3,797	4,088
特別利益		
投資有価証券売却益	36	0
負ののれん発生益	0	—
特別利益合計	36	0
特別損失		
固定資産処分損	29	33
減損損失	57	39
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	—	0
特別損失合計	87	72
税金等調整前四半期純利益	3,746	4,016
法人税等	1,122	1,149
四半期純利益	2,624	2,866
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,522	2,774

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,624	2,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	969	△717
為替換算調整勘定	235	△449
退職給付に係る調整額	136	79
その他の包括利益合計	1,342	△1,087
四半期包括利益	3,966	1,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,834	1,679
非支配株主に係る四半期包括利益	132	99

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,617	4,800	4,300	42,717	945	43,663	-	43,663
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	-	1	4	7	11	△11	-
計	33,619	4,800	4,301	42,721	952	43,674	△11	43,663
セグメント利益又は損 失(△)	3,599	△175	15	3,439	4	3,444	3	3,447

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

構造機器事業セグメントにおいて、構造機器製造設備について減損損失を特別損失に計上しております。なお、減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては57百万円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,416	5,768	4,121	44,307	1,106	45,413	-	45,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	-	39	42	32	74	△74	-
計	34,419	5,768	4,161	44,349	1,138	45,487	△74	45,413
セグメント利益又は損 失(△)	3,474	446	△27	3,892	29	3,922	△6	3,916

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

構造機器事業セグメントにおいて、構造機器製造設備について減損損失を特別損失に計上しております。なお、減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては39百万円です。

3. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	3,134	27.5	34,233	70.9	34,416	75.8	2,950	20.7
構造機器	7,124	62.5	8,354	17.3	5,768	12.7	9,709	67.9
建築機器	759	6.7	4,592	9.5	4,121	9.1	1,230	8.6
報告セグメント計	11,018	96.7	47,179	97.7	44,307	97.6	13,891	97.2
その他	371	3.3	1,133	2.3	1,106	2.4	398	2.8
合計	11,390	100.0	48,313	100.0	45,413	100.0	14,289	100.0

前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	3,112	31.9	33,720	76.2	33,617	77.0	3,215	31.0
構造機器	5,741	58.8	4,749	10.7	4,800	11.0	5,690	54.9
建築機器	714	7.3	4,642	10.5	4,300	9.8	1,057	10.2
報告セグメント計	9,568	98.0	43,112	97.4	42,717	97.8	9,963	96.2
その他	195	2.0	1,145	2.6	945	2.2	396	3.8
合計	9,764	100.0	44,258	100.0	43,663	100.0	10,359	100.0

前連結会計年度(自2017年4月1日 至2018年3月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	3,112	31.9	44,978	74.1	44,956	76.1	3,134	27.5
構造機器	5,741	58.8	8,263	13.6	6,880	11.7	7,124	62.5
建築機器	714	7.3	5,939	9.8	5,894	10.0	759	6.7
報告セグメント計	9,568	98.0	59,181	97.5	57,731	97.8	11,018	96.7
その他	195	2.0	1,494	2.5	1,318	2.2	371	3.3
合計	9,764	100.0	60,676	100.0	59,050	100.0	11,390	100.0

(2) 地域ごとの売上高

前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
27,244	3,826	2,244	9,269	1,077	43,663

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. アジアのうち、中国向け売上高は5,257百万円です。

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
28,647	3,713	2,286	9,703	1,062	45,413

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. アジアのうち、中国向け売上高は5,543百万円です。